

PRESS RELEASE

報道関係各位

2020年5月28日

麻布大学、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う学生支援について ～オンライン授業の開始・支援と学習環境補助（奨学費）～

麻布大学

麻布大学（学長：浅利昌男、本部：神奈川県相模原市、URL：<https://www.azabu-u.ac.jp/>）は新型コロナウイルス感染防止対策として、オンラインでの遠隔式授業を実施とそれに伴い学生のオンライン環境整備の支援策を実施しています。

麻布大学は、新型コロナウイルス感染症が報じられた初期段階から、「学生・教職員の健康と命を守ることはもとより、学内外への感染リスク低減を最優先する」ことを基本方針として、新型コロナウイルス感染症に対応しています。

遠隔式授業は4月30日から開始し、面接式授業（対面式授業）については学生の安全を最優先に考え、令和2(2020)年度前期の全期間（9月22日まで）で、オンラインでの遠隔式授業を実施する方針で、現在2学部5学科の全学的に遠隔式授業を実施しています。

1. ノートパソコン及びポケットWi-Fiの無償貸与

遠隔式授業の開始直後に学生の声や受講状況を分析し、学生側の通信環境の改善のために人材を投入し、機器の貸し出しなどを含め、受講環境の改善に努めて授業をスムーズに受けられるように支援しています。

受信環境が良好でない学生には、環境整備の目的でノートパソコン及びポケットWi-Fi（通信料込みのレンタル契約）を大学側で用意して希望の学生へ無償で貸与しています。ポケットWi-Fiは当初の見込み以上に申し込みがあったため追加手配をして、学生の支援を拡充しています。

2. 学習環境補助（奨学費）

学生の学習環境補助（奨学費）として、学生1人あたり一律2万円を支給します。

3. 学生相談の対応強化

学生が疑問や不安などを気軽に電話相談できるように、「何でも相談窓口」を新設し、相談支援を行っています。相談相手には教職員をはじめ大学院生や学部学生が対応しています。また大学に通学できない状況のため、就職、学校生活、友人との出会いなど授業以外の不安や悩みに関する相談については、公認心理師やキャリア・就職相談室の専門の先生が相談に対応しています。

また麻布大学では、これらの支援策に加えて、別途、生活費支援の緊急奨学金や本学独自の奨学金制度を利用しやすくするための条件緩和などを検討して、新型コロナウイルス感染拡大の影響の中でも、学生に優しく寄り添う対応を実現するための準備をしています。

<参考情報>

●麻布大学について

麻布大学は、今年2020年には創設130周年を迎える獣医系大学として二番目に長い歴史を持つ大学です。私立大学として動物学分野の研究に重点を置くトップクラスの実績を基盤に、新たな人材育成に積極的に取り組んでいます。

本学は、獣医学部（獣医学科、動物応用科学科）と生命・環境科学部（臨床検査技術学科、食品生命科学科、環境科学科）の2学部5学科と大学院（獣医学研究科と環境保健学研究科）の教育体制に、学部生：2,492名、大学院生：82名が学んでいます（2020年5月1日現在）。1つのキャンパス内（神奈川県相模原市）で、人・動物・環境に関する教育・研究を実施している国内唯一の大学です。

麻布大学の概要：<https://www.azabu-u.ac.jp/about/feature02.html>

●本件のお問い合わせ先

<広報部門の連絡先>

- ・ 広報課 担当：栗末、有嶋
- ・ 電話：042-769-2032、メール：koho@azabu-u.ac.jp
- ・ HP <https://www.azabu-u.ac.jp/>